

平成 29 年度 第 17 回政策推進会議報告

日 時 2月5日 9時30分～10時13分

場 所 4 - 1 会議室

出席者 22人

1 第3次地域いきいき健康プランあまがさき(素案)に対する市民意見公募手続の結果について

医務監から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長)パブコメの件数としては少ないが、医師会ほか関係団体の皆さんや縁の深い方々に色々なご意見をいただいて作った素案ということといいと思う。いきいき健康プランあまがさき自体が色々な計画を内包したパッケージの総称のようなもので、国保のデータヘルス計画や母子保健に係る計画、自殺対策に係る計画など、そういったものが個別のままではいけないということで今回整理したものであるのご承知置き願いたい。

2 尼崎市健康増進計画(尼崎市国民健康保険特定健康診査等第3期実施計画・保健事業実施計画(データヘルス計画)第2期)(素案)に対する市民意見公募手続の結果等について

ひと咲きまち咲き担当局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長)ヘルスアップ尼崎戦略推進会議がそれぞれの施策の情報共有と調整の場にもなっているので、今回いただいた意見も有効に活用し、しっかりとポイントを押さえながら計画の推進に取り組んでいく。これまでも進めてきた「対処から予防へ」ということで、頑張っていきたい。

3 (仮称)尼崎市たばこ対策推進条例(骨子素案)に対する市民意見公募手続の実施について

健康福祉局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・コンビニの前や公道など公共空間的な場所で立ち止まった喫煙についても規制するのか。歩きたばこは市内全域を禁止とするが、今のところはそのような喫煙まで禁止しようとは考えていない。あちらこちらで喫煙されるよりは、たばこの販売所などに灰皿を置いていただき、集中的に喫煙するようにしたほうがいいのかと考えている。
- (市長)悩ましい問題で、いろいろな意見が出ると思う。できればやはり灰皿を置くだけではなく、囲いのようなものがある喫煙スペースを設置していただきたい。コンビニやたばこ屋さんにご協力いただいて灰皿を置いて、煙を浴びないと目的地に行けないような場所については、むしろ取組の方向性に逆行してしまうところがある。店舗等の入口付近は人の出入りがあるのでなるべくやめて、広いスペースがあり煙を避けることができる場所に喫煙場所作らないといけない。取組を進めていく中で、もう少し細かいガイドライン的な呼びか

け基準のようなものを作っていけるかもしれない。

(市長) これからパブコメ行うが、論点としてはこの骨子案をまとめるまでにかなり出していたと思う。パブコメでもたくさんのご意見をいただくと思うが、多数決で決めるものでもないで、新しい視点で意見をいただければしっかりと反映させていく。また、条例を施行したあとも様子を見ながらバージョンアップを図っていきたい。自転車の条例と同様に、これをきっかけにしっかりキャンペーンを行い、お互いが声をかけやすい雰囲気を作っていくことが大事だと思っている。喧嘩腰にならず、お互いちゃんと協力しようというような声かけができるようなまちづくりを進めたい。

4 尼崎市地球温暖化対策推進計画の策定に係る「基本情報」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

経済環境局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長) 現状のところ、尼崎市全体としては削減目標は達成しているが、産業部門の影響が大きくて民生部門は未達成という説明を付け加えていただいた。これは次の計画を作るにあたっての情報として記載し、ご協力いただいている市民や事業者の皆さんに公表しておくほうがいいと思う。

調整する。

5 その他

こども青少年本部事務局長から、「ユースワークフォーラム」について説明。

以 上